

年間授業計画【新様式】

高等学校令和5年度（2学年用）教科

地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史

科目：地理総合

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年

教科担当者：平山 剛大

使用教科書：（「わたしたちの地理総合」（二宮書店））

教科 地理歴史 の目標：

我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う。

【知識及び技能】 我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 歴史的・地理的事象から課題を見出し、わが国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。

【学びに向かう力、人間性等】 歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。

科目 地理総合 の目標：

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：地理に関わる諸事象に、世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。 技能：地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付ける。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域に着目して、概念を活用して多面的・多角的に考察し、地理的課題の解決に向け構想する力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	球体としての地球、時差と生活、おもな図法による世界地図、地図の表現を理解する。球面上の正しい方位や時差、図法によって異なる世界地図の特色を理解し、以降の学習の基盤を築くとともに、日常生活で活用する力を身につける。	第1章 地図とGISの活用 第1節 球面上の世界 1.2 球面上での生活 3 世界地図でとらえる地球 第2節 国家の領域と領土問題 1 国家の領域と海洋の役割 2 日本の位置と領土問題	【知識・技能】 ・地球を球面として捉え、球面上の位置・方位・距離について正しく認識し、季節・気候を生み出すことを理解している。 ・日本の位置と領域、領土問題について理解している。 【思考・判断・表現】 ・球体である地球上での位置・方位・距離を正しく読み取ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球体としての地球を把握し、さまざまな図法による世界地図の理解に向けて、作業などに意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	外国で暮らす日本人を題材として、日本と諸外国との関係を理解する。国家間の結びつきを地域経済圏や国際連合を通して考察する。観光、交通・通信、貿易・物流の視点から、人や物・資本・サービス、情報の国際的な移動のようすを理解する。さまざまな統計地図や統計資料を分析し、表現する地理的技能を養う。	第3節 国内や国家間の結びつき 1 国家をこえた結びつき 2 観光による結びつき 3 交通・通信による結びつき 4 貿易・物流による結びつき 第4節 日常生活のさまざまな地図 1 身の回りにあるさまざまな地図 2 地理情報システムのしくみと使い方	【知識・技能】 ・統計数値を用いて適切な主題図を作成することができる。 ・外国で暮らす日本人や歴史的背景を通して、日本と諸外国との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・複数の主題図を比較し、主題によって、表現方法が異なることを説明することができる。 ・交通や通信の発達変化について分析し、国家間・地域間の格差について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地域や国家間の結びつき、日本の領域に関する諸問題について、興味・関心をもって授業に臨もうとしている。	○	○	○	7
	中間考査			○	○		1
	世界的な視野から地球上の起伏の分布がプレートテクトニクスにもとづくプレート境界と関連していることを捉える。また、河川がつくる地形や海岸部の地形、それらの地形を活かした暮らしの特徴を学習し、写真や地形図によって具体的に読み取り、考察する技能を身につける。	第2章 生活文化の多様性と国際理解 第1節 自然環境と生活文化 1 地球上の地形のなりたち 2,3 山地と平野/海岸部の生活 4 地球上の気候のなりたち 5 暑い気候 アフリカ 6 乾燥した気候 7 季節の違い 大陸の西岸と東岸 8 寒冷な気候 シベリア	【知識・技能】 ・地形や気候のなりたちに関する知識を身につけ、それぞれの地理的事象について世界的な視野から読み取ることができる。 ・世界の産業の特徴を地域ごとに比較し、自然環境や生活文化との関連性を考察している。 【思考・判断・表現】 ・地形を活かした人々の暮らしの特徴について写真や地形図などから捉え、地形と生活文化との関連を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の地形・気候のなりたちと生活文化・産業とのかわりについて、興味・関心をもって授業に臨んでいる。	○	○	○	10
期末考査			○	○		1	

